

Kagoshima University International Center for Island Studies

島嶼研だより

No.76

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

2018 年 10 月

主な記事

島嶼研特任教授に着任して（鈴木英治）	p1
鹿児島大学島唄 x ジャンベプロジェクト part1（梁川英俊）	p3
学生奮闘記 “My exchange program with the University of Kagoshima” （Phung Chee Chean）	p5
フィールドこぼれ話「離島におけるエネルギー問題解消に向けて」（市川英孝）	P13
連載 とうがらしに旅して 第十七回 「酒と唐辛子の関係（二）ヤシ酒—インドネシア編—」 （山本宗立）	p14

島嶼研特任教授に着任して

国際島嶼教育研究センター 鈴木英治

平成30年3月末で理工学研究科を定年退職となり、4月から「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」を担当する特任教授として、国際島嶼教育研究センターで働くことになりました鈴木英治です。よろしくお願いいたします。このプログラムは、前身となる単年度のプログラムを入れるとすでに3年経過し、あと2年続く予定です。「教育研究の拠点整備」ということで、あるテーマを決めて実行するというより、多くの教員がそれぞれのテーマを進めやすい環境を作ることを趣旨としています。奄美分室の設置もあり、奄美群島における教育研究活動は幸いにして格段に増えていると考えます。ただ来年度で現プログラムは終了となりますので、教育研究活動が途切れることのないようにその後の進め方を考えなくてはなりません。

ところで私自身が特任教授着任後に行って

いることを、以下に紹介しましょう。平成27年度まで鹿児島大学の博物館長を兼務していた時に、約14万点といいながら正確な総点数すらも不明であった植物標本庫の標本のデータベースとデジタル画像の作成、そして大学ホームページ上での公開を始めました。これらの標本は薩南諸島の植物多様性を研究する時に必要不可欠なものであるため、平成28年度に新設のグローバルセンター長となってからも続け、現在も継続中でようやく6万5千点余りが今年の7月で済みました。まだ標本庫の半分弱しか終わっていませんが、科ごとに行っているため整理済みの科については、薩南諸島の各島で採集収蔵されている種が明確になりました。そのデータは、昨年度末に本プログラム予算で出版した『奄美群島の野生植物と栽培植物』（南方新社）にも生かされています。本の執筆と標本のデータベース作成で気づいたこととして、鹿大のキャン

(2) 島嶼研だより No. 76

パスにもあるようなごく普通な種の標本が、希少種などよりかえって少ないことです。たとえば全国各地に分布するという帰化植物のヒメジョオン（写真1）は、奄美大島に1980年代後半以後に入ってきたようで現在島内の各地に見られますが、鹿大の標本庫に存在せず、堀田（2013）の奄美群島植物目録にも記録されていません。奄美大島に隣接する与路島の標本は鹿大標本庫に皆無、請島と加計呂麻島の標本も他の島と比較するとずっと少ないことが分かり、現在はこれら3島の植物相を明らかにするために、標本収集を行っています。先に述べたヒメジョオンは与路島で発見できておらず、帰化植物の侵入経過も興味深い研究テーマです。

昨年度まで毎年1回は植物観察会を奄美大島で開催し、毎回40名ほどの方に参加していただきました。それはそれなりの効果があったのですが、やはり実質2-3時間の植物観察会では初心者への導入としては意味があっても、より上のレベルの方には物足りないだろうと感じて

いました。そこで今年は5日間の野外観察会を伴う「奄美群島の植物教室」始めました。参加者は原則全部に参加することとし、植物分類の一般的な講義、野外観察と植物の撮影、その後の教室で植物写真の分類整理を行います。参加者を募集したところ32名と予想以上に多数の方に参加していただき、大人数では野外で十分に説明できないので、土曜日だけに行う予定だったのを、2班に分け土日と2日同じことを繰り返すことにしました（写真2）。昨年度までの1日観察会の参加者は小学生とその父兄が多かったのですが、今年は年齢が高くツアーガイドをやっておられる方など、より専門的な知識を得ようとして熱心に参加される方が多くみられます。昨年までの観察会より大学の教育活動らしい内容になっていると感じています。私自身も植物教室の準備のために奄美の植物を見直す良い機会となり、これはこうだったのかと勉強不足を恥じながら、奄美の植物の複雑さに改めて感心しています。



写真1 ヒメジョオンの花（奄美大島
大和村思勝2018.6.20）



写真2 奄美群島の植物教室参加者
（2班編成のうちの1班、奄美大島龍郷町
2018.6.24）